

(様式1-2)

双葉町 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等

平成28年5月時点 (単位:千円)

基金設置の有無: 無 設置の時期: 平成29年度以降

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名称, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費(注3), うち、福島県又は避難指示・解除区域都市町村等以外の者が負担する額を減じた額, 各年度の交付対象事業費(注4) (平成25年度 to 平成〇〇年度), 全体事業費(注5), 全体事業期間, 備考(注6).

Summary table with columns: 県名, 種別, 担当部署名(注7), 復興推進課, 担当者氏名(注7), 小倉 隆宏, 米山 治介, 石上 兼, 市町村名(注7), 双葉町, メールアドレス(注7), takashi-ishigami@town.futaba.fukushima.jp, 地方公共団体の組合名(注7)

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(実施要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
(注3)「総交付対象事業費」は、「交付期間」を通じての全ての事業費を記載する。
(注4)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段 < >書きについては、自動計算される。
(注5)各年度の交付対象事業費(中段)のうち、様式1-4で提出された年度の値が配分(申請)に係る交付対象事業費となる。
(注6)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。
(注7)年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「備考」に年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。
(注8)共同で作成する場合においては、「担当者氏名」等は共同で作成する福島県又は避難指示・解除区域都市町村等の担当者並びて記載する。